



令和5年度

WWL (ワールド ワイド ラーニング) コンソーシアム構築支援事業
～Snow Crystal Project in HOKKAIDO～
カリキュラム開発拠点校 北海学園札幌高等学校

ニュース リポート 第2号 2023 (令和5) 年5月24日 (水)

酪農学園大学で播種作業

5月12日(金)の放課後、生徒28名が酪農学園大学に向き、トマトとかぼちゃの播種作業を行いました。

11日の畑への堆肥・糞入れ作業に引き続き、酪農学園大学 飛谷淳一准教授にご指導いただき、小さな種子をピンセットを使い、1つ1つ土の入ったセルトレイに入れていきました。普段食べている野菜からは想像も



できないような小さな種を見て、生徒は驚いた様子でした。

また、「底面給水」という水のやり方を教えていただきました。トマトの種は非常に小さく、水を上から撒くと水と一緒に種が流れてしまうため、下から土に水を吸わせる方法を行うそうです。

トレイに種をまいた後は、日付と学校名、そして「おいしく育つように」という願いをプレートに記入し、播種作業は終了です。



播種作業が終わったあとは、昨日本校の畑にも使用させていただいた、酪農学園大学オリジナルの堆肥を作っている倉庫を見学しました。

酪農学園大学では、堆肥に豆腐や牛乳を作る過程で出る残渣を使用しています。

「豆腐の残渣を堆肥に使う→その堆肥で大豆を栽培する→その大豆を豆腐にする→豆腐の残渣を堆肥にする」という地球にやさしい循環農業がおこなわれています。

堆肥を微生物が分解する力で、何も手を加えなくても山になった堆肥の中は90度まで温度が上がっています。実際に触れることにより、目に見えない小さな微生物の大きな力を感じました。

次回は、種子から成長した苗を本校の畑に定植する作業です。
ありがとうございました。

